



令和3年5月17日

各位

株式会社松浦機械製作所
代表取締役社長 松浦勝俊

当社における DX 戦略について

1. はじめに

当社は2021年度に「選ばれる理由にこだわる」という理念を新たに掲げ、高品位な工作機械メーカーとしてお客様から仕入れ先様まで皆様から選ばれる会社であり続けるために事業変革を進めています。

コロナ禍を理由に、オンラインでのプロモーション活動、デジタル技術を利用した事務業務と生産現場の効率化は市場の大きなトレンドとなっています。特に工作機械業界では営業活動やメンテナンス・修理などは、工場見学や現場への直接訪問が主流でしたが、その従来の方式を変えなければ競争優位性が失われかねない状況まで業界が一変しました。

長期的な視点にはなりますが、日本の人口推移予測を見れば、生産人口の減少は避けられません。この状況では、人材確保、教育、社内業務効率化が必須となるとともに、生産財である工作機械は自動化・無人化を実現する機能がさらに大きな付加価値を持つ時代が来ます。

時代の急激な変化に対応しつつ、お客様の生産性向上に長く貢献できる信頼性の高い機械を提供し、そして、そのサポートを十分に供給できる体制を強化します。当社は新設した DX 推進室を筆頭にデジタル技術を各本部に確実に導入し、ばらつきのない高品質なモノづくり現場、情報発信体制を構築し、イノベティブなソリューションを製造業に提供し続けて参ります。

2. DX 戦略概要

① 動画制作能力の強化

動画撮影・編集できる人材を DX 推進室で育成し、各本部で以下の様に動画活用を推進します。

- 販促用動画の供給体制を強化。営業販促資料（ユーザーインタビュー・カタログ）を電子化・動画化してオンラインで公開。
- 採用活動の動画利用促進。動画で分かる社員・業務紹介。
- 組立・メンテナンス手順書の動画化。海外子会社・代理店のトレーニング効率化。

② 社内業務の効率化

社内システムを最適化し、品質の安定化と業務の効率化をはかり、高い信頼性の機械を迅速に出荷する体制を構築します。そのために、製造から事務まで一貫したシステム上の情報連携を展開し、データによる定量評価にこだわった見える化を実現します。

③ デジタル技術を利用したキーテクノロジーの進化

マツウラの工作機械の強みである自動化・高速高精度・使いやすさのキーテクノロジーに AI や IoT のデジタル技術を組み込み、新製品に高付加価値を創出します。そのために、AI 機能に特化したエンジニアを育成し、新設した要素技術開発チームで技術開発を行います。

3. DX 推進体制

株式会社松浦機械製作所代表取締役社長を統括責任者、DX 推進室長を実務責任者とします。DX 推進室は各本部の実務担当者と協議を行い、各本部同士の要件定義を整理しながら不合理のない全社連携の業務体制を確立します。

また、動画の撮影・編集は DX 推進室の動画作成の経験をもとに他本部に教育を行い、AI エンジニアの育成は外部機関を利用し、なおかつ、新規採用も進めています。

4. システム環境整備体制

社内システムインフラの設計・メンテナンスを担当する、経営企画室システムグループと共同で社内システムの要件定義から導入までプロジェクトマネジメントを行います。なお、システムグループではレガシーシステムの刷新や、新機能追加のための開発が日常業務になります。一つ一つのシステム改善案件は費用対効果を基に実施を判断しており、毎年予算化された費用から投資を行っています。

5. 達成度を測る指標

企業収益の向上をもって DX 戦略の全社的な達成度の指標とします。当社ウェブサイト (<https://www.matsuura.co.jp/japan/company/profile>) にて年商を年次更新しています。また、企業収益の向上の目標値を基準にした中期経営計画が 2021 年度に策定されました。各本部の業務革新の計画が定義されているため、執行役員の定期会議の中で進捗が管理されます。この中期経営計画は非公開ですが、社内システムの刷新に関しては 3 年以内の実現と売上高 200 億を目標設定しています。

以上